## 様へ

## 説明医師

説明看護師(外来) 看護師(病棟)

月日	月	日	月 日	月 日	
経過	当日(術前)	当日(術後)	術後1日目	術後2日目	
目標	手術に対する不安が 最小限となる				
検査					
食事	許可が出るまで 飲食できません	手術後4時間後に うがいをしてください 問題なければ水分をとって ください	お粥食がでます		
	絶食	絶食	全粥食 全粥食	全粥食 全粥食 全粥食	
hn	体温・脈拍・血圧・ 酸素飽和度を 測ります	手術後しばらく 頻回に測ります	体温・脈拍を測ります (朝・昼・夜)	体温・脈拍を測ります (朝·昼·夜)	
	リストバンドを装着します (退院日まで装着します)	手術室よりストレッチャーで 病室に戻ります 手術後約6時間酸素吸入を しています		・ 耳鼻科処置室(B3) で診察を行います ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
察	<b>子が</b> 手術部位のマーキングをします	創のところにチューブが 入っています モニターを装着します			
点滴		引き続き点滴があります	静続の点滴は夕方で 終了します	抗生物質の点滴を 行います (6時、14時、22時)	
· 内 服	OS-1 のない場合 午前中に点滴をします				
行	金属類(時計、指輪、ネックレス、鍵、貼り薬等)を外してください	ベッドで安静に してください	朝、尿の管を抜いた後 トイレ歩行できます 西護師が体を拭き	☆ 病院内を歩けます	
動	手術着に着替えます 弾性ストッキングを	尿の管が入って います	手術着から寝巻きに		
	履きます	<b>医红上儿子四</b>	E4: 11:400		
	医師より説明 ・入院後の治療計画と 手術について	医師より説明 (家族の方に) ・手術の結果について	医師より説明 (本人に) ・手術の結果につい		
説明	麻酔科医師より説明 ・麻酔について	看護師より説明 ・首の安静について			
	看護師より説明 ・入院生活について ・手術前後の処置と 経過について				
	薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・内服薬について				

- \* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください \* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。
- \*この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

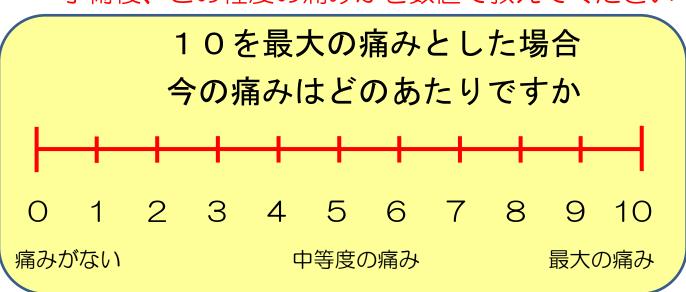
月日	月日	月日	月日	月 日	月日
経過	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6目	術後7日目 午前中退院
目標	出血がない 呼吸苦がない 嗄声を認めない	感染がない			退院後の療養について 理解できる
検査					
食事	朝より普通食となります				朝食後退院となります
					2
処置	体温・脈拍・血圧 酸素飽和度を 測ります (朝・昼・夜)	※状態が安定すれば 1回/日			
· 観 察	耳鼻科処置室 (B3)で 診察を行います	•	•	•	退院時にリストバンドを
	術後3日目頃に 創の部分のチューブを 抜きます				外します
点滴	抗生物質の点滴 を行います (6時、14時、22時)		抗生物質と健胃薬の —		
• 内 服	(0 49, 11 49, 22 49)	(0 49,11 49, 22 49)	内服薬を開始します		
行動	病院内を歩けます	术	术	术	术
	下半身のみシャワー浴が許可されます		ジャワーが許可 されます		
説明					医師より説明 ・退院後の治療 計画について
					看護師より説明
					・退院後の療養生活について 薬剤師より説明・内服について

## 手術後の傷の痛みを教えてください

講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された <u>術後疼痛管理チーム(APS)チーム</u>が、患者さんの傷の痛みに対し て、手術前から計画を立て、<u>傷の痛みが軽減するよう</u>取り組んでま いります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale):痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。

● 手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください。



APS チームがサポートします。 よろしくお願いします。

